

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第27号

ななえ古写真物語

VOL. 27

ありし日の卒業式

~七重小学校卒業式~

大正12年

七重小学校



3月は、卒業式のシーズンです。つい先日、町内の小中学校でも無事に卒業式がとり行われ、多くの児童・生徒が新たなステージへ旅立っていきました。私もかなり前に卒業しましたが、その時の記憶は、今なお鮮明ですから、よほど心象に残る出来事だったことと思います。本年度卒業された皆さん。本当におめでとうございます。

さて、この文書を書くにあたり、時期的に卒業式の写真がないかと当館所蔵資料を探しまわっていたら、上の写真が見つかったので、今回紹介しようと思います。

この写真は、大正12年3月に撮影された集合写真で、七重尋常高等小学校の尋常科卒業生徒と先生達が写されています。おそらく、校舎玄関前に集まって撮影されたものと思われ、建物の屋根には、まだ雪が積っていますし、生徒のほとんどが着用している和服も、防寒のため、重ね着しているのがうかがえます。

また、髪型をみると、男の子は丸坊主、女の子は後ろで髪を束ねるのが、当時一般的なスタイルだったようで、現在のように、髪の長かったり、短かったりと、様々なスタイルを見ることがあまりなかったようです。

一方で、先生と思われる人物の中には、洋装をしている人も見られ、ネクタイにスーツ、コートを着用している様子が伺えます。また、足元をみても革靴を履いている人や雪下駄（冬用の覆いがついた歯の長い下駄）を履いている人など様々で、こういった写真一枚からも、明治時代から大正時代にかけて、西洋文化がどんどん一般へ浸透し、定着していったことがうかがえます。

七重小学校が、なぜ「七重」という漢字表記なのか、また、町内で最も歴史のある小学校だということについては、ピチャリ第15号で、角積学校の写真の紹介とともにふれましたが、今回の写真に写っている校舎は、その後、明治27年~大正15年まで使用されていた校舎です。この時代は、生徒数がどんどん増えたため、教室が足りなくなり、村役場の一部を仮教室にしたという記録もある程ですから、少子化時代の現在から見ると、少しうらやましく思ってしまう時代なのかもしれません。

当時の生徒にとっては、学び舎の思い出を記す大切な一枚でしょうが、幾年月も重ねることによって、その思い出は、歴史を語る資料となるのだと、改めて感じる一枚でした。

3日

今月の夜の博物館では、『ななえの観光の歩み』について講座が行われました。

七飯町の歴史を辿りながら、どのような観光資源が誕生してきたのか、そして、現在の観光についての課題などが学芸員から話されました。

歴史を振り返ってみると、日本で初めて西洋リンゴ・西洋チーズが栽培・試作されたり、近代農業発祥の地だったり、七飯町は『初めて』が多い町だということに、受講者の皆さんも感心されていたようでした。



4月の予定

1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土 ジュニア探検クラブ
25	日
26	月
27	火 展示OPEN予定
28	水
29	木 昭和の日
30	金



釣れそうな気がする!

27日

今月は、『冬の大沼探検』と題して、じゅんさい沼にわかさぎ釣りに行きました。当日は晴天に恵まれ、駒ヶ岳もきれいに見え、絶好の釣り日和でした。係員さんに教えてもらいながら、氷上の穴に釣り糸を垂らして待っていると「釣れた!」という声がちらほらと聞こえ、係員さんのアドバイスもあって、多くの子どもたちがわかさぎを釣ることができました。最後に、釣ったわかさぎをその場で揚げてもらって食べました。寒さに耐えて釣ったわかさぎは格別だったようで、あっという間に完食!

午後からは、この時期大沼で見られるという、もうきん類を探しにバスで出発~!...したのは良かったのですが、1カ所目のポイントでは発見できず、次こそは!と2カ所目、3カ所目のポイントに移動しましたが、残念ながら見ることは出来ませんでした。



おいし~い



鳥、いるかなあ...

「タイトルのないはっぴょうかい6」を開催しています。

町内の小学校児童の皆さんが取り組んだ、総合学習の成果を3月25日まで展示しています。今年度も様々な工夫を凝らした作品が集まりました。ぜひご覧ください。



資料整備をしました。

21年度に寄贈いただいた資料や、歴史館で保存している資料の整理・クリーニングを行いました。多くの貴重な資料をありがとうございました。(A)



編集後記 ~tawagoto~

今年度も、残りあとわずかだが、相変わらず忙しい日々が続いている。特に今年度は、当館の年報第2号を刊行すべく、現在、最終校正の真っただ中...。本来なら毎年発行すべきなのだが、大人の都合(ということにしてもらいたい)で、不定期発行となり、ようやく、待望の第2号の発刊にこぎつけました。七飯の自然や当館資料の紹介など多分野の内容を掲載していますので、発行まで今しばらくお待ちください。(やまだひさし)

Richard

~ピチャリ~

第27号

平成22年3月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp